

白百合の花が咲くまでに

PC① 推奨流派：ハグレモノ

貴方は「姫（PC②）」を攫った忍びだ。座敷牢に閉じ込められた「姫」を貴方は外の世界へと連れ出した。

PC①の【使命】は、PC②に外の世界を見せることだ。

PC①の【秘密】

この秘密を自分から明らかにすることはできない

PC②は貴方の妹だ。まだ幼い頃に拐われ、妖魔【霧狗】の生贄に定められた。座敷牢から連れ出すことはできたが、まだ霧狗の贄の定めから逃れたわけではない。

貴方の【本当の使命】は「PC②を【霧狗】の呪縛から解き放つ」ことである。

PC② 推奨流派：隠忍の血統

貴方は「姫」だ。座敷牢に閉じ込められていた貴方は、PC①に連れられ外の世界に出た。人として育てられなかった貴方には、その世界はキラキラと輝いて見えた。もっと外の世界を見たい。そう貴方は思った。

PC②の【使命】はPC①とともに外の世界を見ることだ。

PC②の【秘密】

この秘密を自分から明らかにすることはできない

貴方の中には【霧狗】が封じられている。【霧狗】は記憶を喰らう。

サイクル終了前にマスターシーンが挟まれる。その際、貴方は任意の【感情】に「忘却」の変調を受ける。サイクル終了時点で貴方が【感情】を一つも所持していない（「忘却」や特殊変調「喪失」を受けている【感情】は所持していないと判定する）場合、貴方は【霧狗】となる。そうなった場合、貴方は【成り代わりの霧狗】のハンドアウトを獲得し、すべての「忘却」を「喪失」に変更しなければならない。

貴方の【本当の使命】は「【霧狗】の呪縛から逃れる」ことだ。

貴方は座敷牢に閉じ込められるとき、【白百合の蕾】を持たされていた。貴方はプライズ【白百合の蕾】を所持している。

PC③ 推奨流派：比良坂機関

貴方はPC④と協力して「姫（PC②）」を確保するように命じられた忍びだ。

「姫」は座敷牢に閉じ込められている。そこから確保するのは骨が折れる。そう思っていた矢先、「姫」が連れ去られたという情報が入った。これは、仕事が捗りそうだ。

PC③の【使命】はPC②を捕えることだ。

PC③の【秘密】

この秘密を自分から明らかにすることはできない

貴方は「【霧狗】の分体」だ。

【霧狗】は精神に寄生する妖魔だ。記憶を喰らい、食らい付くした人に成り代わる。貴方はPC③の記憶を食い尽くしてPC③と成った。PC②は【霧狗】の本体を宿している。まだ成り代わってはいないようだが……。【霧狗】は本体が死ねば分体もすべて滅びる。そうならないように、PC②を食い尽くせるよう動かなければならない。

貴方の【本当の使命】は「PC②を【霧狗】にする」ことだ。

貴方の奥の奥に、喰らい尽くせなかったものがある。それがなにかは、食らうことができなかった貴方にはわからない。貴方は、プライズ【記憶】を所持している。

PC④ 推奨流派：鞍馬神流

貴方はPC③と協力して「姫」ことPC②を確保するように命じられた忍びだ。PC②は【霧狗】の贄。捧げられる前に始末しなければならない。命令は確保だが、関係ない。幸いなことに、強固な座敷牢から連れ出されているようだ。殺すなら今だろう。PC④の【使命】はPC②を殺すことだ。

PC④の【秘密】

この秘密を自分から明らかにすることはできない

PC③は貴方の大切な人だった。しかし、今はもういない。今のPC③は【霧狗】だ。理屈はわからないが、霧狗は人に成り代わるものらしい。PC③と貴方は「【霧狗】の分体」を討伐しようとして失敗した。PC③は【霧狗】となり、貴方の事を忘れた。貴方は【霧狗】が許せない。貴方の【本当の使命】は「【霧狗】を殺す」ことだ。

霧狗

六祖と言われる大妖魔の一つ。【霧狗】の使命は「PC②を喰らい力を得る」ことだ。

霧狗の【秘密】

【霧狗】とは精神体の妖魔である。人に取り付き、取り付いた人の記憶を喰らい、その人に成り代わる。取り付いた人が死ねばこの妖魔も同じく死ぬ。また、本体と分体に分かれることができる。本体を殺さない限り、分体は死ぬことはない。本体を封印した場合も分体は不死の存在になる厄介な妖魔だ。もし、【霧狗】が成り代わった後に成り代わった人が脱落した場合、【霧狗】だけが死亡する。もし成り代わられた人が【感情】を所持していない場合、成り代わられた人も死亡する。

白百合の蕾

プライズ

PC②に持たされた白百合の蕾。もうすぐ、花開きそうだ。【白百合の蕾】には【秘密】がある。このハンドアウトを知っているキャラクターは【白百合の蕾】を情報判定の対象にすることができる。

白百合の蕾の【秘密】

【霧狗】を封印するためのプライズ。【白百合の蕾】はクライマックスフェイズ終了まで【霧狗】の本体に寄生されたキャラクターが所持することで【霧狗】を封印できる。ただし、そうした場合、寄生されたキャラクターのすべての記憶も一緒に封印され、失われる。【白百合の蕾】は記憶を保存する機能を持っている。キャラクターは獲得している【感情】を一時的にこのプライズに移すことができる。その場合、移した【感情】は特殊変調「喪失」となる。移した【感情】を取り戻すためには、対となる感情をこのプライズに捧げる必要がある。そうした場合、プライズに捧げた【感情】は「喪失」となり、捧げた感情の対になる【感情】は「喪失」が解除される。記憶の保存や【感情】を捧げることができるのは、【白百合の蕾】を所持しているキャラクターのみである。記憶の保存や【感情】を捧げることは行動には含まれず、【白百合の蕾】を所持していればいつでも即座に可能である。

記憶

プライズ

奥底にしまいこんだ記憶。大切にしまい込まれており、【霧狗】でも喰らうことができない。

【記憶】には【秘密】がある。このハンドアウトを知っているキャラクターは【記憶】を情報判定の対象にすることができる。

ただし、PC③は【記憶】の【秘密】をいかなる手段でも獲得することができない。

記憶の【秘密】

PC④はPC③にとって大切な人だった。

大切な記憶を【霧狗】に喰われぬよう、PC③は封印したのだ。もし、PC③がPC④の事を思い出せば【霧狗】をPC③から追い出すことができるだろう。

PC④はPC③への【感情】を獲得している場合、プライズ【記憶】の使用を宣言してもよい。使用の宣言は【記憶】を所持していなくてもできる。

使用を宣言した場合、PC④の持つPC③への【感情】は特殊変調「喪失」となり、この【秘密】を公開する。また、PC③及びPC④の【秘密】をそれぞれ、PC③の【新しい秘密】、PC④の【新しい秘密】に差し替える。すでにPC③・④の【秘密】を獲得しているプレイヤーには、対応する【新しい秘密】を公開すること。使用を宣言した場合、【記憶】は消滅する。

成り代わりの霧狗

【成り代わりの霧狗】の【使命】は「PC全員を殺す」ことだ。

このハンドアウトが公開されたとき、即座にクライマックスフェイズへ移行する。

PC②は【生命力】16の妖魔となり、異形化を3回行う。穢れは受けない。また、新たに《特技》一つと奥義【不死身】（指定特技は新たに獲得した《特技》）を獲得する。

【秘密】はない。

PC④の記憶

プライズ

PC④がPC③の記憶を呼び起こすために差し出した記憶。

これを取り戻さない限りPC④はPC③を思い出すことはない。

このハンドアウトはプライズ【記憶】を使用したあとに公開する。

【PC④の記憶】は譲渡したり、メインフェイズでの戦闘シーンの戦果として選ぶことができない。クライマックス戦闘の戦果でのみ所持者が変更される。

PC③の【新しい秘密】

貴方にとってPC④は大切な人だ。

PC④はその記憶を使い、貴方を【霧狗】から救い出した。貴方の中に巣食っていた「【霧狗】の分体」は【PC④の記憶】を持って逃げ出した。

【PC④の記憶】はPC②が所持している。

【PC④の記憶】はクライマックス戦闘の戦果でしか奪うことはできない。【PC④の記憶】を貴方、もしくはPC④が手に入れることでPC④の貴方への「喪失」は解除される。

貴方の【使命】は「PC④の記憶を取り戻す」ことだ。

PC④の【新しい秘密】

なにか、大切なことを忘れていた気がする。

それがなにかは、思い出せない。

ただ、【霧狗】が憎い。

貴方の【本当の使命】は「【霧狗】を殺す」ことだ。